

相手をいつも 新しい目で見ることができる愛

i S E G N A L I B R I
d I T E F E N S

I Care I Care本のしおりにして一か月間生きるよう思い出しましょう。

DAL
CONGO



11

愛はゆるし
忘れることができる

わたしはロサンジェラの母親です。ある時、一人の乱暴な少年の投げた棒が目にあたり、ロサンジェラは片目の視力を失いました。ところが少年は態度を改めず、ロサンジェラをからかい続けたばかりか、彼の親からも謝罪の言葉はありませんでした。相手側のこのような態度に、ひどく苦しみました。

が、娘は少年をゆるし、「お母さん、心配しないで。まだ片方の目が見えるから、大丈夫よ」と言っていました。ある日、少年の母親が人を介して『具合が悪いから来てほしい』と私を呼びました。私はとっさに『どうことなの。近所にはたくさん人がいるでしょうに、息子があんなことをした後で、私に助けを求めてくるなんて』と思いました。でも、愛には障害物がないことをすぐに思い出し、彼女のもとに出かけました。家の扉を開けた彼女は、私の腕の中に倒れました。病院に連れて行き、医者の治療が始まるまで、そばにいてあげました。一週間後、彼女は退院し、感謝するため私の家にやって来ましたが、私は彼女を心から迎え入れ、赦すことができました。今では、関係は元通りになりました。むしろ、すっかり新しい関係になったと言えます。

家族のなかで福音の生活を証してきたことがありましたか？



互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。(エフェソの信徒への手紙 4・32)

Da un commento di Chiara Lubich - Adattamento Centro Gen 3

親

これを生きるだけでも、皆が兄弟として連帯して生きる社会を築くには、十分でしょう
切とは、相手の善を望むことです。相手の重荷や苦しみ、必要性を共に担い、喜びも分かち合うため、自分からつぼにし、自分の関心や考え、多くの先入観を脇に置いて、兄弟と「一つになり」、相手の話に耳を傾けることです。

みんなを
受け入れる
ことができる
愛

あ

われみの心とは、相手をありのまま受け入れることです。私たちは、隣人の性格が変わるように望んだり、自分と同じ政治観や宗教を持ってもらいたいと思ったり、相手の欠点や態度が気に障って、それがなくなしてほしい、と願ったりします。しかし、そうではなく、私たちは心を広げて、自分とは異なるすべての人を、相手の限界やみじめさも含めて、受け入れる必要があるでしょう。

毎日
相手を
初めて会ったとき
のように見る

ゆ

るしとは、相手をいつも新しい目で見ることです。家庭や学校、職場でも、衝突や意見の相違、対立はよく見られます。私たちは毎日まわりの人をまったく新しい目を見て、前に相手から受けた傷を思い起こさずに、すべてを愛で覆う努力をするよう求められています。神がすべてを赦し、忘れ去ってくださるよう、私たちも心の底から完全に兄弟を赦すことです。

おたがいの
愛
になるような
愛

「親切」「あわれみの心」「ゆるし」を個人だけでなく、皆で共に実践する時には、真の平和と一致が生まれてくるでしょう。

私たちも一日中、謙遜さと賢さを伴う、具体的な奉仕を通して、愛を表現することができるでしょう。こうして、私たちの周りにも、兄弟愛と平和が広がっていくのを目にするでしょう。

PAROLA DI VITA

11

